

# さくらの風

平成29年12月1日 No.8 発行

## 神戸市立歌敷山中学校

□下記の URL で学校の情報を発信しています。  
http://www2.kobe-c.ed.jp/uts-ms/

## 12月行事予定



日 曜	行 事	SC	給 食			
			1年	2年	3年	特支
1 金	1年5P:防犯教室 立候補者説明会		○	○	○	○
2 土	グラウンドゴルフ 神戸市ダンス発表会					
3 日						
4 月	選挙運動①		○	○	○	○
5 火	選挙運動②		○	○	○	×
6 水	選挙運動③		○	○	○	○
7 木	立会演説会・投票	○	○	○	○	○
8 金	選挙結果発表 PTA運営委員会		○	○	○	○
9 土						
10 日						
11 月	全校朝集 3年午前中		○	○	×	○
12 火			○	○	○	×
13 水	6P:全校読書会		○	○	○	○
14 木	公開学校保健委員会	○	○	○	○	○
15 金	個別保護者会①		×	×	×	×
16 土						
17 日						
18 月	個別保護者会②		×	×	×	×
19 火	個別保護者会③		×	×	×	×
20 水	個別保護者会④ 心臓精密検診(1年)		×	×	×	×
21 木	大掃除		○	○	○	○
22 金	授業午前中 新旧生徒会引継会		×	×	×	×
23 土	天皇誕生日					
24 日						
25 月	終業式 生徒会退任式		×	×	×	×
26 火						
27 水						
28 木	仕事納め					
29 金	冬季休業					
30 土						
31 日						

### 1月のおもな行事予定



1日(日) 元日  
8日(月) 成人の日  
9日(火) 始業式 全学年実力考査  
給食なし弁当持参  
10日(水) 委員任命・新生徒会任命  
授業午前中 委員指導 週番編成  
12日(金) 2年カルタ会  
1年わくわくオーケストラ・県立美術館  
15日(月) 3年午前中  
16日(火) 避難訓練  
17日(水)~22日(金) 3年個別保護者会(3年5Pまで授業)  
19日(金) 1年カルタ会  
26日(金) 入学説明会  
31日(水) 授業午前中

## 1,480の瞳

橋本 孝

「光陰矢の如し」と言いますが、早いもので私は今年度で教師生活37年、ここ歌敷山中学校に赴任して6年になります。美術科の教師は私一人ですので、必然的に全校生740名と授業をしています。授業の様子を一部紹介しますと、デザインの学習でポスターカラーを使って色塗りをしている時、筆洗器で筆を洗うカラカラという音のみが心地よく響いています。一様に背を丸め、黙々と色塗りに取り組んでいる生徒たち。「おっ！これ、いいな。」と声をかけると、嬉しそうににっこり「ありがとうございます。」そして次の瞬間には、またケント紙に向かい、色塗りを始めています。

こうした、一人一人の意欲が張りつめた教室にいと、美術の教師でいることの喜びが込み上げてきます。また、片付けの時間、一人の生徒の作品を囲って、「すごいなあ。」という声に誘われて鑑賞者の数が増える中、その生徒が照れくさそうに満足げににっこり笑うその笑顔に、また喜びが込み上げてきます。

以前、私が担任をしていた頃、家庭訪問先の玄関に、授業でつくった作品が綺麗に飾ってありました。子供の作品を生活の中で楽しんで、この家庭の心の豊かさに関心させられたこともありました。

話は変わりますが、1月と5月に初任校時代の教え子から同窓会の誘いがあり、行ってきました。1月は、当時の19回生(現在48歳)、5月は、当時の18回生(現在49歳)です。皆立派な社会人になっており、卒業アルバムの顔写真と見比べながら、楽しい時間を過ごすことができました。当時、男子は丸刈り、女子は聖子ちゃんカットでしたね。その頃、美術の授業時間数は2時間確保されていましたので、授業の中でクロッキーの時間を取り入れたり、大きな作品や共同制作もできました。

現在は1時間となり寂しい思いをしていますが、生徒達には「美術室に来てからが美術じゃないよ。授業外の時間の過ごし方が大事だよ。」と言っています。「この形、おもしろいな。」「この色使い、きれいだな。」など、生活の中でその瞬間に出会った時にキャッチする感度を高めて欲しいと思います。ある人はそれをスケッチとして描きとめることもあるでしょうし、人によっては文章にすること、誰かに話すことなどがスケッチの代わりになるのかもしれませんが。そしてそれが創作意欲を掘り起こすことになると思います。

中学時代の美術の授業が、卒業後何らかの役に立ててもらえれば、一美術科教師として大きな喜びの一つとなります。

## 音楽コンクール・文化発表会を終えて

### ●がんばれ全力少年・全力少女

3年5組

「全力少年」は、とても難易度が高い曲だった。初めは、歌詞を目で追うだけで大変だと思った。テンポも速く、ソプラノが走っていたり、一つに合わせる事が本当に難しかった。でも、「全力少年」を歌っている時の5組は、いきいきしていたように感じた。良い歌を歌いたいとき、クラスの一体感が必要だと思った。私は、できる限りの声を出して歌うことができなかったけど、実行委員を中心に「全力少年」をより良い歌にすることができた。そして、練習を積むごとに課題が見つかった

時も、クラス全体が臨機応変に対応したからこそすぐ改善できた。

「プレゼント」は、「全力少年」とは真逆の曲だった。テンポも曲調も違い、切り替えが難しかった。パートリーダーが、私たちに分かりやすくアドバイスをしてくれたので、とても歌いやすく、パートの息が合わせられるようになった。

音楽コンクール当日、今までの実行委員やパートリーダーの努力が金賞に繋がるように一生懸命歌った。今までで一番良い合唱だったと思う。結果も金賞で本当に嬉しかった。文化発表会へ向けての練習も5組らしい楽しい空気のできた。金賞を獲ったことは、5組一番の思い出になった。

### ●追憶～希望と伝統を永遠に～

3年6組

台本作成から始まり、本番まで本当にたくさんことができました。この劇において最も重要なのは、メッセージ性。笑いがあり、時にシリアス。沢山ある場面の中で、どうしたら一番伝えたいことを強調できるだろうか。当初の台本は、本番の約2倍。伝えたいところを残し、話の大筋は分かるように、且つ観てもらう人に展開が早いと思わせないように、頭を悩ませました。今回は、第70回目の記念すべき文化発表会で、70年の伝統を題材にしました。とても壮大なテーマで難しかったです。まさに、劇の主人公と同じで、「あーもう、伝統って何なんだよ！」状態でした。沢山の先生方からお話を伺い、自分でも調べて少しずつ見えてきました。戦後間もなく、生活も豊かではなく、平和ではなかったこと。中学生も働いていたこと。そこから国民は助け合い、高度経済成長期を迎え、発展していったこと。歌敷山の校舎も木造建築で、初めて写真を見たときは驚きました。しかし、調べたとはいえ、私たちは平和ではない時代を知りません。演技は、想像の世界でした。毎日毎日、練習は続きました。少しずつ、自分達の演じる人物像が見えてくるのが分かりました。このとき、彼は、彼女は、どんな心情で、どんな行動をとったろうか。声色は？表情は？試行錯誤を繰り返して、どんどん良い仕上がりになりました。それぞれの熱い想いが衝突することもありましたが、先生方はずっと支えてくださり、仲間たちはそれぞれもバネにして、絆もさらに深まりました。涙を流すこともありましたが、それ以上に練習は楽しかったし、仲間に出会えることも嬉しかったのでここまで来られたんだと思います。支えて下さった先生方、執行部のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

## トライやる・ウィークを終えて

### ●貴重な体験 - 垂水モーターズ -

2年4組

体験1日目の事業所までの行き道で私は今年で一番の緊張をしていた。自動車整備工場で働く、「仕事」とはどんなものなのか。期待と不安でいっぱいだった。

ここでの作業はほぼ全て初めてであった。見たこともない器具や機械、普段はお目にかかれない車の内部など、全てが新鮮だった。どれもこれも頭に色濃く残っている。その中で最も印象に残ったのは「点検」だった。おそらく、車検に出された自動車がどんなことをして返されるのかわからない人がほとんどであると思う。だからいい加減にしても、そうじゃない。一つ一つの作業が細やかだった。全ては車の持ち主の安全のために、と黙々と丁寧な「仕事」をする姿はとても格好よかった。

「仕事」とはあらゆる人から自分を信じてもらい、任されてスタートする。任されたからには、誰かに見られていなくても、誰も知らないことでも、その任せて頂いた事に懸命に接する。そうすることの大切さをこの事業所で学ぶことができた。貴重な体験ができた素晴らしい行事であった。

### ●お客様からの一言 - めしや食堂 -

2年6組

私はこのトライやる・ウィークで沢山のことを学んだ。特に仕事の大変さが分かった。その中でもお客様からの言葉がとて

も心に残った。

初日、私はとても忙しかった。お昼の時間はお客様が多く、卵焼きを作るのに必死だった。注文も沢山あって、焼いてはお客様の元へ届ける、というくり返しになっていた。そして注文も落ちついた頃、一人のお客様に言われた一言がある。それは、「さっき注文して届けてくれた卵焼き、すごく美味しかったよ」という一言だった。とても驚いて、ありがとうございますと何回も言った。

私がこの一言を言われて思ったことは、働くのがいくら大変で忙しくて辛くても、お客様のために美味しい食事を提供する事に意味があると思った。仕事は大変で楽しくないかと思っていたが、大変だけれど、仕事ってすごく楽しいんだと感じた。この5日間、本当に仕事をするのが楽しく、貴重な体験ができたトライやる・ウィークになった。

### ●教える側の大変さ - 霞ヶ丘小学校 -

2年7組

僕は、このトライやる・ウィークでいろいろなことを学んだ。霞ヶ丘小学校へ行った僕は、児童のお世話や授業に参加したり、管理員さんのお手伝いをした。

その中で心に残ったことは2つある。1つは大勢の前でハキハキしゃべる先生方のすごさだ。すごいではあまり伝わらないが本当にすごかった。それは僕たちが自己紹介する時、僕自身はしゃべってないが、それでも前に立つというのはすごく緊張した。その前でハキハキとしゃべっている先生方は自分の行動に自信があるのだと思った。2つ目は裏で仕事をしている管理員さんの事だ。仕事の手伝いでセメントを混ぜた時、力に自信あったが、結構しんどかった。これを毎日毎時間して、そのおかげで僕達が安全に生活できていたと知った。表に出ないが実際やってみて大変で大切な仕事だとよく分かった。裏方の仕事の人への感謝を忘れないようにしたい。

今回のトライやるを終えて、普段体験できない貴重な経験を得ることができたので、これを学校生活に活かしたい。

## 表彰の記録

平成29年度第39回兵庫県中学校総合文化祭(書写)

特選 3年  
入選 2年  
1年

第69回兵庫県幼・小・中造形教育展

特選 3年  
入選 3年  
2年  
1年

第48回「友情をつなぐ」絵画作品展

入選 3年  
2年  
1年

◀ソフトテニス部▶

○垂水区1年生大会  
女子個人の部 第5位 1年

◀バレーボール部▶

○第9回尼崎招待バレーボール大会 GET THE VICTORY CUP  
3部トーナメントB 第3位

平成29年度垂水区中学校ダンス発表会

出場 1年